

活動を通してつながる

久留米市には、約680の自治会・町内会と46の校区コミュニティ組織があります。地域活動などを通して、人と人のつながりづくりに大きな役割を果たしています。

関わる人を増やすことが課題

自治会は、同じところに住む人々が、みんなで協力し合いながら、住みよいまちづくりに取り組み自主的な集まりです。防犯灯やごみ集積所の維持管理、防犯パトロール、夏祭りなどの交流行事を行い、地域のつながりの核となっています。「広報久留米」の配布など地域と市をつなぐ役割も担っています。

近年、個人の価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域活動への関心が薄れています。自



令和4年9月に開催したコミュニティ交流会には、10校区から約90人が参加

治会活動や地域の行事に参加したくても難しい人も増えています。少しでも多くの人が関われるような仕組みづくりが課題です。

地域のこれからを考える

各小学校区には、自治会や住民団体などと連携し、にぎわいづくりなどまちづくり活動の活性化に取り組む「校区コミュニティ組織」があります。校区コミュニティセンターを拠点として、それぞれの地域の特性を生かした活動を行っています。

市は、活動に参加するきっかけの場として、毎年、市内の小学校PTA役員や校区役員などを対象に、「コミュニティ交流会」を開催しています。令和4年は、情報発信がテーマ。普段、関わる機会が少ない世代が、校区の魅力を知ってもらう方法や団体が連携するアイデアについて意見交換をしました。校区内でつながりを深めると共に、他校区とも交流し、自分たちのまちについて新たな発見をした地域も。参加した校区の中には、

会をきっかけに、改めて校区と小学校PTAで交流会を開催し、校区公式LINEを活用した情報発信や新たなイベント実施に向けて動き出したところもあります。

自分たちの手でまちをつくる

活動に関わると、幅広い世代の人と交流が進み、顔見知りになります。顔を知っているから、日常生活の何気ない支え合いや、みんなで守るといふ安心感が生まれます。災害時など、いざというときには、助け合う基盤となります。自分たちが暮らすまちだからこそ、一人一人ができることがあります。

一部の人だけが関わるのではなく、仕事をしていても、それぞれができる範囲で関わります。自治会加入をきっかけに、地域の人とつながることで、一緒に考え、自分たちの手でまちをつくることができます。自分が住むまちの活動を知らりたい人は、問い合わせ先各校区コミュニティセンターに確認してください。



自治会でいったボウリング大会には、年齢に関係なく多くの人参加



長門石校区 中通自治会会長 倉員正明さん

自分ができる範囲で

自治会長を受けて3年になります。私は仕事をしていますが、役職が大変だと思ったことはないです。相談できる仲間もいるし、できないときは代わりにしてくれます。自治会活動でやっていることは特別なことではありません。自分ができる範囲でいいし、構える必要はないので、気軽に考えてほしいですね。地域の人とつながることは安心につながり、役に立ちます。活動に関わってもらうためには、アピールも必要。今は、イベントがあると声を掛けるなどして仲間を増やしています。一緒にやると楽しい。これからも地域でできることをみんなとやっていきたいです。

校区交流会では、効果的な情報発信について話しました



高良内小PTA役員 松尾花子さん

つながりは財産

私は小学校のPTA役員をしながら、校区では子育て中の母親が集う「たけのこ学級」を主催する1人として活動しています。仕事と両立するのは大変ですが、時間を調整しながらやっています。主催者側を続けているのは、参加するだけでは分からないことが見えるし、さまざまな人とつながりができるから。それは私の財産です。先日、校区交流会に参加しました。地域の人と話す中で、高良内は寄り添える力があって、つながれる地域だと感じました。知り合うことで、声も掛けてもらえるし参加してよかったです。今後もつながりを大事にして、活動していきたいと思います。

／ コミセンに遊びにきませんか ／

校区コミュニティセンター（コミセン）では、特色ある活動が行われています。見に来るだけでもOKです。出会いや情報がいっぱい。

【主な活動】

- 各種スポーツイベント
- 乳幼児と参加できる子育てサロン
- 小学生対象の子ども土曜塾
- 高齢者いきいきサロン
- 男の料理教室など



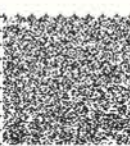
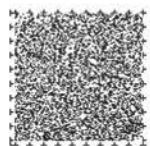
イベントで餅まきも行います。地元のおいしいものも集め、多くの人でにぎわいました（善導寺校区）



災害に備え、要支援者の避難経路などを確認する自主防災組織の図上訓練を行いました（弓削校区）



小学校と連携し、米作りなどの体験で子どもたちに作物を育てる大変さや収穫の喜びを教えています（水分校区）



地域を支える 自治会のチカラ



身近なところにある

安全・安心



交流から広がる

つながり



日頃から備える

防災



私たちにできること

環境美化



自治会は、1人1人の「チカラ」を集結して、皆さんの住み良い暮らしを守っています。それぞれができることを少しずつ取り組むこと、自分なりに協力することで、住み良い暮らしの実現に近づくことができます。

あなたのチカラ まちが変わる

地域のためにできることを探しませんか。
自分たちのまちを自分たちで築きませんか。

👍 自治会とは

住民同士がつながることで、
■地域への愛着が深まり、より豊かな暮らしが送れます
■災害が起きた時など、心強い味方になります
■犯罪抑止力を高めます
 夜道を照らす防犯灯の維持管理、「広報久留米」の配布やごみの分別、道路や水路の美化活動など、さまざまな活動を通じて、住みやすいまちづくりに取り組んでいます。



【主な活動】

子育て支援

高齢者支援

青少年育成

防災活動

通学路のパトロール



子どもたち全員へのあいさつを欠かさない諸藤さん（大善寺校区）

🔍 地域の活動を紹介します

朝7時45分、大善寺小学校近くの通学路から「おはようございます。今、何時ですか」、「ジャンケンポン！やったー、今日は勝った！」と、子どもたちの元気な声が響きます。14年間にわたり、交通量の多い通学路に立って、子どもたちの登校を見守っている諸藤繁俊さん。校区交通安全協会大善寺支部支部長、青パト隊の隊長などさまざまな地域の活動を担っています。諸藤さんは、活動を続けてこられたパワーの源は「子どもたちの明るい笑顔と健やかな成長」だと話します。

📍 校区コミュニティセンターとは

久留米市には、小学校区を基本単位としてまちづくりを行う「校区コミュニティ組織」があります。校区内の自治会や各種住民団体で構成。「校区コミュニティセンター」を拠点に、それぞれの特色を活かしたまちづくりが進められています。市内46の校区コミュニティ組織で構成する「久留米市校区まちづくり連絡協議会」は、共通する課題の解決やまちづくり活動の活性化に向けた取り組みを進めています。



バックナンバーは
こちらから

📄 各校区の情報発信しています

久留米市校区まちづくり連絡協議会の公式 facebook や会報誌で各校区自慢の活動を紹介しています。校区の運動会やイベントなど写真も盛りだくさん。見るだけでも楽しめます。



facebook の「フォロー」も忘れずに

📄 校区コミュニティ組織や自治会のことなら

📍久留米市 協働推進部 地域コミュニティ課
 ☎0942・30・9014、FAX 0942・30・9711
 ✉comm@city.kurume.lg.jp

📄 地域のイベントや自治会加入のことなら

📍久留米市校区まちづくり連絡協議会
 ☎0942・30・9243
 FAX 0942・30・9711